

2023年12月5日

工法・メンテナンスの確立で外装木質化需要の拡大目指す オリジナル木材商品による本社ビル外装木質化工事が竣工

ニュースポイント

ナイス株式会社（本社：横浜市鶴見区、社長：杉田 理之）は、国産スギを用いたオリジナル木材商品による本社ビルの外装木質化工事を手掛け、このたび竣工しましたのでお知らせいたします。

当社では、2022年に同じくオリジナル木材商品による内装木質化リノベーションを実施し、木材利用に関心のある多くの事業者様等にご来館いただき、スギをはじめとする木材の新たな活用方法などについて提案するほか、施工後の経年変化などの検証を行っております。今回の外装木質化を通じて、木材が持つ可能性の更なる拡大を図り、需要の創造につなげてまいります。

スギは本来、軟らかく傷がつきやすい樹種ですが、今回の外装木質化では、特殊な表層圧密技術によってスギ本来の長所を維持しつつ表面硬度を高めた「Gywood®」、耐久性の高い飢肥杉の赤身部分のみを用いた「ObiRED®」など、付加価値の高いオリジナル商品を用いております。また、最も面積の大きい外壁部分には、硬い冬目と軟らかい夏目の密度差を生かし、特殊表層圧密技術によって硬い部分で柔らかい部分を押し出すことで、一般的な浮造りよりも深い凸凹形状を生み出す「凸凹 Gywood®」を採用しております。これまでにない立体感のある製品で、自然光や照明などによって生まれる美しい陰影が際立つ空間を実現します。なお、本工事における木材使用量は約 11.2 m³、炭素貯蔵量は二酸化炭素換算で 6.5t-CO₂ となります。

加えて、本事例において適切な工法やメンテナンスに関する検証を行い、高付加価値なオリジナル商品と併せて、施工方法やメンテナンス手法までをパッケージ化して提案していくことで、外装木質化改修に対する懸念を払拭し、普及していくことを見据えております。

当社では今後も、付加価値の高いオリジナル木材商品の開発及び提案を通じて、中期経営計画に掲げた到達目標「国産木材No.1」の実現を目指してまいります。

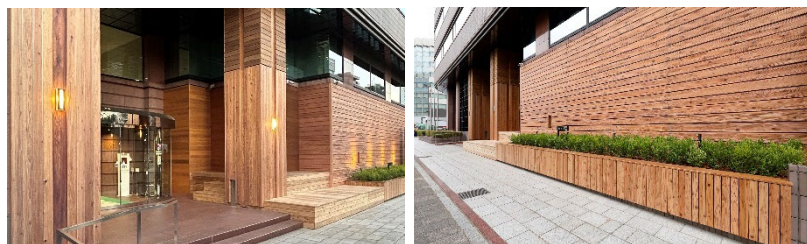
外構木質化における課題と対策の検証

【最適な工法の検証】

外壁に胴縁を取り付け、木材を上張りするカバー工法を採用し、施工性の向上及び再現性に配慮したユニット化、取付金物を含めたキット化を行いました。更に、雨水処理や通気性の向上に配慮するとともに、容易な張り替えを可能とするパネル化を部分的に実施し、検証いたします。

【メンテナンス手法の検証】

紫外線や風雨の影響による変色について、色差計による定量化を行うほか、同素材のモックアップについて異なる条件下での経年変化を比較検証することで、維持管理計画立案に向けたエビデンス取得を目指します。また、経年変化や変色などに対する来館者の評価を検証することで、再塗装工事の合理化等、維持管理計画への活用を検討しております。



お問い合わせ先

ナイス株式会社 管理本部 広報部 森 TEL：045-501-5048 MAIL:koho@nice.co.jp
〒230-8571 横浜市鶴見区鶴見中央 4-33-1